

英語科学習指導案

科 目	授業学級	授業場所	使用教科書	授業者
コミュニケーション英語Ⅱ	2年1組（普通科）25名 （男子7名，女子18名）	LL教室	NEW STREAM English CommunicationⅡ	内山 健一

1 単元（題材）名

Chapter 5 No More War Tragedy

2 単元（題材）の目標

- (1) 登場人物の心情を考えながら，読んだり聞いたりしようとする。 【外国語理解の能力】
- (2) 読んだり聞いたりした内容を，英語で相手に伝えようとする。 【外国語表現の能力】
- (3) 読んだり聞いたりした内容に関して，英語で自分の考えを話したり，書いたりしようとする。 【外国語表現の能力】
- (4) 〈It is～that の強調構文〉や〈助動詞+have +過去分詞〉を用いた表現を習得する。 【言語や文化についての知識・理解】
- (5) 地雷によって左足を失ったモータラという象の話を通して，平和について考える。 【言語や文化についての知識・理解】
- (6) ペアやグループ活動で積極的にクラスメートと英語でコミュニケーションを図ろうとする。 【コミュニケーションへの意欲・関心・態度】

3 単元（題材）の評価基準

ア コミュニケーションへの意欲・関心・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
①ペアやグループ活動に積極的に参加しようとしている。 ②意欲的に自分の意見などを発表しようとしている。 ③クラスメートの意見を積極的に理解しようとしている。	①本文を意味のまとまりごとに正しく区切って読むことができる。 ② <u>本文の内容を要約し，英語で説明することができる。</u> ③ <u>本文を読んで感じたことや自分の考えを英語で表現することができる。</u>	①内容を正確に読み取ることができる。 ②登場人物の心情を理解することができる。 ③クラスメートの英語による意見等を理解することができる。	①モータラに起きたことを自分のこととして捉えようとする。 ②世界の情勢に関心を持ち，平和の大切さについて考える。 ③強調構文や助動詞+have +過去分詞を使った英文を理解している。

4 単元（題材）の指導計画

時 間	主な学習内容
1 時間目	導入 文法事項の確認
2 時間目（本時）	Part 1 新出単語，表現，内容把握，音読， <u>表現活動（モータラの立場から物語をリテリング）</u>
3 時間目	復習（part1音読） Part 2 新出単語，表現，内容把握，音読
4 時間目	復習（Part 1, 2音読）， <u>Part 2 “What do you think?”（モータラと人々の絆について表現する）</u>
5 時間目	復習（Part 1, 2音読），Part 3 新出単語，表現，内容把握，音読
6 時間目	復習（Part 2, 3音読） <u>Part 3 “What do you think?”（地雷の犠牲となったモータラに英語でメッセージを書く）</u>
7 時間目	復習（Part 2, 3音読），Part 4 新出単語，表現，内容把握，音読
8 時間目	復習（Part 3, 4音読），Review 語彙，要約文完成，文法事項
9 時間目	<u>表現活動（この物語や平和について英語で感想を話したり，書いたりする）</u>

5 教材（単元・題材）観（単元概要）

世界には約7千万もの対人地雷が埋められており、20分に1人の割合で地雷の犠牲者が出ている。本教材のモータラという名前の象も地雷によって左足を失ってしまう。象使いのソムワン少年が長時間かけてモータラを象の病院に連れて行き、モータラは手術を受けるが、モータラは麻酔により長い間眠ったままだったので、人々はたいへん心配した。手術から1ヶ月後、モータラは元気を取り戻し、人々の援助により義足がつけられ、歩くことができるようになる。本教材は人と動物のあたたかい絆を描くとともに、モータラの足を吹き飛ばした地雷の恐ろしさを伝えている。無差別に人や動物を殺傷する地雷を手がかりに、世界の現状に思いを馳せ、平和を希求する生徒を育てるのに優れた教材である。

6 生徒観（生徒の実際）

本校普通科は文系3クラス、理系3クラスで構成されている。文系、理系それぞれに習熟度別クラスが設けられており、本時のクラスは文系習熟度クラスである。素直で明るい生徒たちが多く、落ち着いて学校生活を送っている。ほとんどの生徒が進学を希望しており、真面目に授業に取り組む。ペアやグループ活動で積極的に話し合うクラスである。

7 指導観

本クラスは英語に対する興味・関心が高く、積極的に英語を話そうとする生徒がいる一方で、語彙や文法など基礎的な事項に習熟しておらず、英語を苦手としているものも多い。特に長文を読む力をつけることが大きな課題となっている。そこで毎日の授業では、音読プリントを用いて英文の意味の区切れを意識しながら、何度も音読させることにしている。そうすることで新出の単語や表現を自分のものとし、英語の語順に慣れ、英語を読んだり、聞いたりする基礎ができるものと考えている。

また、本校英語科では「読んだり聞いたりした内容を基に、その内容に関する自分の考えなどをわかりやすく英語で表現できるようになる」ことを研究課題としている。そのため、本時の授業には読み取った内容を登場人物の立場からリテリングさせる活動を取り入れた。登場人物の心情を察することで深い読みを促し、学習が深まることを期待したい。

8 本時の実際

(1) 本時の目標

- ①モータラという象に何が起こったのか、またその後どうなったのかを正しく理解することができる。
- ②意味のまとまりをとらえて、音読することができる。
- ③本文の内容を要約し、英語で話したり書いたりすることができる。
- ④ペアやグループ活動に積極的に参加することができる。

(2) 本時の評価基準

3 単元（題材）の評価基準

ア コミュニケーションへの意欲・関心・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
①ペアやグループ活動に積極的に参加しようとしている。 ②意欲的に自分の意見などを発表しようとしている。 ③クラスメートの意見を積極的に理解しようとしている。	① <u>本文を意味のまとまりごとに正しく区切って読むことができる。</u> ② <u>本文の内容を要約し、英語で話したり、書いたりすることができる。</u>	①内容を正確に読み取ることができる。 ②登場人物の心情を理解することができる。 ③クラスメートの英語による意見等を理解することができる。	①強調構文や助動詞+have +過去分詞を使った英文を理解する。

(3) 本時の展開

時間	学習内容	生徒の活動	教師の活動	活動の目的・備考	評価	技能
5	あいさつ Oral Introduction	・あいさつをする。 ・質問やクイズに答える。	・あいさつをする。 ・地雷について英語でクイズを出す。	・英語学習の雰囲気作り ・地雷や物語について関心を持たせる。		L
1	本時の目標の確認	・本時の目標を理解する。	・本時の目標を提示する。	・目標を持たせる。		
9	概要把握 (Slash Reading)	<ul style="list-style-type: none"> 個人で教科書にSlashを入れながら本文を黙読する。 ワークシートの語彙を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを配布する。 机間巡視をする。 生徒からの質問に答える。 	<ul style="list-style-type: none"> 意味や発音がわからない部分を確認する。 意味の区切れを意識して読めるようになる。 	ア ① イ ① ウ ①	R
		<ul style="list-style-type: none"> ペアで1文ずつ交代して意味の区切りごとに英語を読み、その部分の意味を言う。疑問点があれば教え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアワークを促す。 生徒からの質問に答える。 早く終わったペアには次の活動に取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアで協力して読み進める。 		
3	英語表現	・ワークシートの英文の意味を確認する。	・他の英文も提示し、理解を促す。	・強調構文やhave＋目的語＋過去分詞を含む英文を理解する。		
2	新出語彙の学習	・新出語の正しい発音と、意味を確認する。	・CDを流す。	・発音と意味を確認する。		L S
9	Input活動 (音読)	<ul style="list-style-type: none"> 音読プリントを使い個人やペアで音読する。 新出語彙や表現を覚える。 	<ul style="list-style-type: none"> 音読プリントを配布する。 CDを流す。 音読の仕方を指示する。 	・何度も音読することにより新出語彙や表現を自分のものとしてリテリングにつなげる。	ア ① イ ①	R S L
20	Output活動 (Retelling)	<ul style="list-style-type: none"> ペアでモータラの立場に立って協力してリテリングする。 モータラの気持ちを考え教科書にない英文を加えたりしてワークシートに記入する。 できるだけワークシートを見ずに相手に伝えられるように練習する。 個人で練習した後、ペアの相手を変えて交互に発表する。 クラス内で数人が発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> くじで数名がクラスで発表することを予告しておく。 机間巡視をする。 新しいペアを作らせる。 クラス内で数人に発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> モータラの心情を考えさせることにより、深い読みを促す。 ペアでアイデアを出し合い、よりよいものにする。 	ア ① ② ③ イ ① ② ③ ウ ① ② ③	R S L W
1	連絡 あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを提出 あいさつをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを回収。 次時の連絡をする。 あいさつをする。 			